

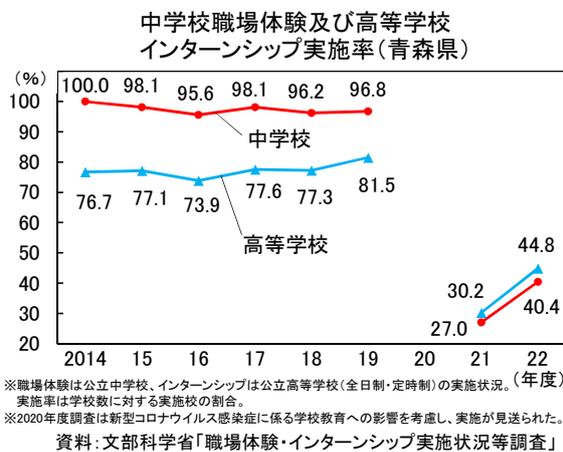
施策3

「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

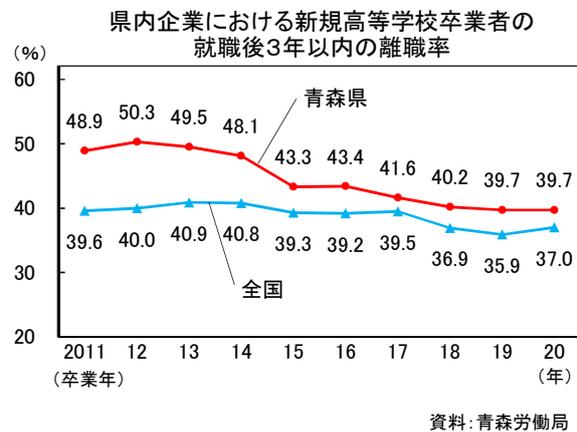
■2023(令和5)年度の主な取組・成果

- 高校生が社会人・職業人として自立し、職場で活躍できる実力（仕事力）を養成するためのインターンシップやビジネスマナー講習会等を実施しました。
- 県立高等学校において、企業や大学、関係機関等と連携を図り、地域人財や資源を活用した探究型学習等に取り組むとともに、地域産業を支える人財の育成を行いました。また、県立高等学校12校に就職支援員を配置し、生徒との進路相談や県内求人開拓等を行いました。
- 医師を志す高校生の実力を養成するため、外部講師による学習セミナーや教員の教科指導力向上プログラムを実施した結果、県内高等学校から63（現浪合計）人が医学部医学科に合格しました。
- 青少年が自己肯定感を高め、主体的に行動できるようにするため、異年齢交流や学校外学修のためのプログラムを提供するとともに、中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるよう、チャレンジする心を育むためのワークショップを実施しました。

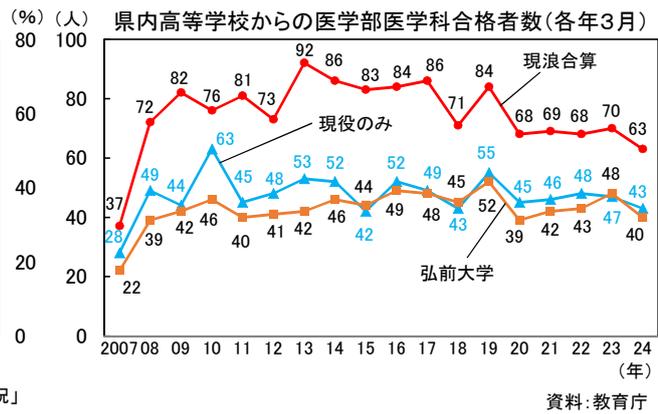
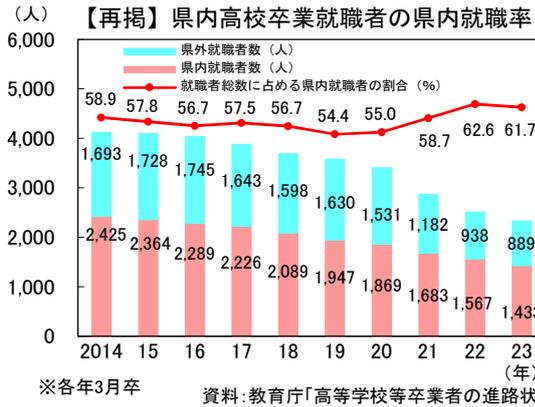
■施策の現状を表す指標の動向等



職場体験・インターンシップ実施率は、コロナ禍を経て、全国・本県とも大きく減少しています。



県内企業における新規高等学校卒業者の就職後3年以内の離職率は、2012年3月卒から減少傾向となっていますが、全国平均よりは高くなっています。



高等学校卒業就職者の県内就職率は、2020年3月卒以降上昇傾向にあります。

2024年3月の医学部医学科への合格者数は63人で、概ね70人前後で推移しています。

■主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>社会人・職業人としての自立に向けて必要な資質・能力を育成するための取組を継続して行う必要があります。</p>	<p>キャリアパスポートを活用し、就職や将来の生き方等ライフプランを意識した系統的なキャリア教育を推進し、児童生徒一人一人の社会的・職業的自立を促します。</p>
<p>本県の大学や短大などへの進学率は横ばいで推移し、全国と比較して低い状況にあります。</p> <p>また、県内高等学校からの医学部医学科合格者数は概ね70人前後で推移していますが、引き続き医師を志す生徒が進路実現できるよう対策が必要です。</p>	<p>医師を含めた各々の進路実現に資するよう、引き続き高校生の学力及び教員の指導力向上に取り組みます。</p>
<p>子どもたちが主体的に行動し、たくましく生きるための様々なスキルを身に付けるため、様々な学習機会の充実に努めるほか、子どもたちのキャリア形成を支援する必要があります。</p>	<p>学校外学修の奨励や異年齢交流の実施等により、青少年のキャリア形成を支援します。</p> <p>出前授業や職場体験受入れ等学校における教育活動の支援に取り組む企業等を登録・紹介している「青森県教育支援プラットフォーム」の活用を促進し、本県キャリア教育の充実に図ります。</p>

3 「生きる・働く・学ぶ」をつなぐキャリア教育の推進

主な課題	今後の取組の方向性
<p>県内企業における新規高等学校卒業者の早期離職率は全国平均と比べ依然として高く、生徒の職業観、勤労観の醸成と、雇用のミスマッチを減らす取組が必要です。</p> <p>また、県内就職率向上のため、より多くの企業情報を提供する必要があります。</p>	<p>キャリア形成講座等の各種研修会、キャリアパスポートを活用し系統的なキャリア教育を進めるほか、職場体験・インターンシップ等に取り組み、社会人・職業人として必要な資質・能力の育成を図ります。</p> <p>また、就職支援員の配置や関係機関との連携等により、県内求人開拓や県内企業と学校の相互理解促進等に取り組みます。</p>

(参考) 2023(令和5)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 医師を志す高校生支援事業【学校教育課】 12,935千円

取組状況	<p>医師を志す高校生の実力向上に向けて本事業における拠点校（青森高等学校・弘前高等学校・八戸高等学校）が中心となり、学習セミナーを地区ごとに実施（参加校18校、参加生徒数延べ875人）し、医学部医学科に合格するための実力を養成した。</p>
------	---

2 県立学校就職促進関連事業【学校教育課】 1,161千円

取組状況	<p>高校生の主体的な職業意識を醸成し、生徒と事業所等との相互理解を促進するため、経済団体、保護者、行政及び教育関係者が就職問題について共通理解を図るとともに、求人確保の方策等について協議を行うため高等学校就職促進連絡会議を開催した。</p> <p>特別支援学校においては、高等部生徒604人が産業現場等における実習を行い、職業意識を育んだ。</p>
------	---

3 仕事力養成推進事業【学校教育課】 1,879千円

取組状況	<p>高校生が社会人・職業人として自立し、就職後に職場で活躍できる実力（仕事力）を養成するため、インターンシップ（延べ13校、体験生徒数926人）やビジネスマナー向上のための講習会（11校）を実施した。</p>
------	---

4 高校生の就職総合支援プロジェクト事業【学校教育課】 13,415千円

取組状況	<p>高校生の就職支援を強力に推進するため、キャリア形成講座（25校53講座）・研修会（9校9講座）に延べ1,941人の生徒が参加した。また、介護員養成講習会（受講者数40人）、先進技能習得研修（9校の教員が参加）などの生徒の資格取得につながる研修等を行った。</p>
------	--

5 青森で生きる未来人財育成事業【生涯学習課】 690千円

取組状況	<p>青少年の自己肯定感を高め、主体的に行動できるよう講座を開催し、高校生のボランティア登録が進んだ。（総合社会教育センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座開催数3回、受講者数169人 ・ボランティアチームへの高校生登録者数63人
------	---

6 大学生とカタル！キャリア形成サポート事業【生涯学習課】 812千円

取組状況	<p>大学生が一定のスキル（コミュニケーション、コーチング等）を獲得するための研修会を開催し、高校生等を対象としたワークショップへ派遣した結果、生徒等が主体的に行動できるようキャリア形成のサポートが図られた。（総合社会教育センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の大学生受講者数192人 ・ワークショップ高等学校16校（1,863人）、中学校1校（125人） ・ワークショップ大学生参加者数延べ654人
------	---

7 高校生スキルアッププログラム推進事業【生涯学習課】 150千円

取組状況	<p>高校生の知識や経験の幅を広げ、様々なスキルの向上を図るためのプログラムに27校4,432人が参加し、うち50人に対し、プログラム修了の認定証を、56人に奨励証を交付した結果、学校外における学修への取組の促進が図られた。（総合社会教育センター）</p>
------	--

8 青森から世界に向かってチャレンジするグローバル人財育成事業【学校教育課】
18,813千円 （施策2に掲載）

9 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業【学校教育課】 58,607千円
（施策2に掲載）

10 特別支援学校技能検定事業【学校教育課】 3,713千円 （施策4に掲載）

11 社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業【生涯学習課】 1,580千円 （施策7に掲載）